

PENERAPAN MEDIA *MEMORY HINT* UNTUK MENINGKATKAN
KEMAMPUAN MEMBACA HURUF HIRAGANA
(Penelitian Eksperimen Kuasi Terhadap Siswa/i kelas X SMAN 1 Mande
Cianjur Tahun Akademik 2017/2018)

Sintia Rahmah Nisa

1205659

ABSTRAK

Penguasaan huruf hiragana merupakan salah satu aspek penting yang harus dimiliki oleh pembelajar bahasa Jepang, terutama bagi pembelajar tingkat dasar. Pada kenyataannya, masih banyak siswa yang merasa kesulitan dalam mempelajari huruf hiragana. Hal ini disebabkan karena durasi kegiatan belajar-mengajar di kelas terbatas, serta penggunaan media pembelajaran yang kurang tepat, yang mengakibatkan kurang maksimalnya kemampuan siswa dalam hal penguasaan huruf hiragana, khususnya dalam hal membaca. Oleh karena itu, dibutuhkan media yang tepat untuk menghafal hiragana secara efektif, efisien dan mumpuni untuk belajar mandiri, seperti media *Memory Hint* Hiragana. Penelitian ini bertujuan untuk mengetahui penerapan media *Memory Hint* dalam meningkatkan kemampuan membaca huruf hiragana. Metode yang digunakan dalam penelitian ini adalah eksperimen kuasi atau *quasi experiment* dengan pola “*One Group Pretest-Posttest Design*”. Populasi dalam penelitian ini adalah 20 orang siswa kelas X SMAN 1 Mande Cianjur tahun ajaran 2017/2018. Instrumen yang digunakan adalah tes dan angket. Dari hasil analisis data, diperoleh nilai rata-rata sebelum diberikan perlakuan adalah 45,9 dan setelah diberikan perlakuan adalah 78,8, dengan t_{hitung} 67,14 dan untuk db 19 dengan taraf signifikansi $5\% = 1,72$ dan $1\% = 2,53$. Karena t_{hitung} lebih besar dari pada t_{tabel} maka hipotesis kerja diterima bahwa penerapan media *memory hint* mampu meningkatkan kemampuan membaca huruf hiragana. Berdasarkan hasil angket, diketahui bahwa seluruh responden setuju bahwa media *memory hint* merupakan media yang menarik, mudah dan dapat digunakan sebagai alternatif media pembelajaran untuk meningkatkan kemampuan membaca huruf hiragana.

Sintia Rahmah Nisa, 2018

**PENERAPAN MEDIA *MEMORY HINT* UNTUK MENINGKATKAN KEMAMPUAN
MEMBACA HURUF HIRAGANA**

Universitas Pendidikan Indonesia | repository.upi.edu |
perpustakaan.upi.edu

Kata kunci : Media, *Memory Hint*, Huruf Hiragana

THE USE OF *MEMORY HINT* IN IMPROVING ABILITY OF READING HIRAGANA

(Quasi Experimental Research Toward First Grade Students of SMAN
1 Mande Cianjur on Academic Year 2017/2018)

Sintia Rahmah Nisa

1205659

ABSTRACT

Mastering hiragana is one of a very important aspect that must be owned by Japanese language learner, especially for beginner. In fact, there are still many student who find difficulties in learning hiragana. It causes the students ability in mastering hiragana not maximally developed, particularly in terms of reading. In addition, the limited class period, and the use of less precise learning media also affect the learning outcomes and the students ability in mastering hiragana. Therefore, the right learning media is required to solve the problem through a self-learning media, such as *Memory Hint*. This study aims to determine the effectiveness of the use of *Memory Hint* in improving reading skills of hiragana. The method used in this study is a quasi experimental with "*One group pretest-posttest design*" pattern. The population in this study were 20 students of class X in SMAN 1 Mande Cianjur of 2017/2018. The instruments used are tests and questionnaires. Based on the analysis of the data, the average values obtained before the treatment was 45.9 and after the treatment was 78.8, with t score of 67.14 and db = 19 db at 5% significance level = 1.72 and 1% = 2.53. Because t score was higher than the t table, the working hypothesis is accepted that *Memory Hint* is effective in improving reading skills on mastering hiragana. Based on

Sintia Rahmah Nisa, 2018

**PENERAPAN MEDIA *MEMORY HINT* UNTUK MENINGKATKAN KEMAMPUAN
MEMBACA HURUF HIRAGANA**

Universitas Pendidikan Indonesia | repository.upi.edu |
perpustakaan.upi.edu

the results of the questionnaires, it is known that all respondents agreed that *Memory Hint* is attractive, easy, and can be used as an alternative learning media to improve the ability in reading hiragana.

Keywords: Learning Media, *Memory Hint*, Hiragana

ひらがなの読む能力を向上させるためのメモリヒントの実装
(2017/2018 年度の Mande Cianjur 第 1 公立学校の一年生に対する
実験研究)

シンティア・ラーマー・ニサ

1205659

要約

日本語の学習者にたいして、ひらがなを習熟するのは一番重要なことであり、特に初級の日本語を習っている学習者である。実際には、ひらがなの学習に困難を持っている学習者がたくさんいる。勉強の時間があまり足りなく、学習のメディアもあまり正確ではないため、学習者のひらがなの読む能力が最適ではなくなると考える。なぜなら、学習の目標を完成するために面白いメディアや簡単な方法や組織的な方法などが必要である。本研究の目的は、ひらがなの読む能力を向上させるためのメモリヒントの実装があるかと分析した。本研究の方法は準実験の方法である。デザインはプリテストとポストテスト(事前テスト事後テスト) デザインである。研究の対象者は **Mande Cianjur** 第 1 公立学校の一年生で、20 名である。本研究のデータの収集の方法はテストとアンケートである。学習を行った後、事後テストの結果は大差を示す。データの分析の結果から、装置する前の平均値は 45,9 点で、装置した後の平均値は 78,8 点を占める。t 得点は 67,14、t 表は 2,53 (1%) である。つまり、t

Sintia Rahmah Nisa, 2018

**PENERAPAN MEDIA MEMORY HINTUNTUK MENINGKATKAN KEMAMPUAN
MEMBACA HURUF HIRAGANA**

Universitas Pendidikan Indonesia | repository.upi.edu |
perpustakaan.upi.edu

得点はt表より高いである。これに対して、ひらがなの読む能力を向上させるためのメモリヒントの実装があるということが分かった。アンケート結果によると、メモリヒントというメディアは面白くて簡単なメディアだと言われている。それに、回答者はひらがなの読む能力を向上させるためのメモリヒントの実装があると答えた。

キーワード：学習のメディア、メモリーヒント、ひらがな

Sintia Rahmah Nisa, 2018

*PENERAPAN MEDIA MEMORY HINTUNTUK MENINGKATKAN KEMAMPUAN
MEMBACA HURUF HIRAGANA*

Universitas Pendidikan Indonesia | repository.upi.edu |
perpustakaan.upi.edu

PENERAPAN MEDIA *MEMORY HINT* UNTUK MENINGKATKAN
KEMAMPUAN MEMBACA HURUF HIRAGANA
(Penelitian Eksperimen Kuasi Terhadap Siswa/i kelas X SMAN 1 Mande
Cianjur Tahun Akademik 2017/2018)

ひらがなの読む能力を向上させるためのメモリーヒントの実装
(2017/2018 年度 Mande Cianjur 第 1 国立高等学校の一年生に対する
実験研究)

A. はじめに

日本語の学習者にたいして、ひらがなを習熟するのは一番重要なことである。実際には、ひらがなを学習するの中に困っている学習者がたくさんある。勉強の時間があまり足りなく、学習のメディアもあまり正確ではないため、学習者のひらがなの読む能力が最適ではなくなると考える。

最近、日本語の学習で様々なメディアがたくさん使用しているが、学習の目標が達成されるように、適切なメディアを使用することが必要である。なぜなら、日本語を学習するために、特にひらがなの中に、面白いメディアや簡単な方法や組織的な方法などが必要である。

Sintia Rahmah Nisa, 2018

**PENERAPAN MEDIA *MEMORY HINT* UNTUK MENINGKATKAN KEMAMPUAN
MEMBACA HURUF HIRAGANA**

Universitas Pendidikan Indonesia | repository.upi.edu |
perpustakaan.upi.edu

本研究では、ひらがなの読む能力を向上させるために、メモリーヒントを使用した。学習者はひらがなを簡単に覚えられると希望している。それに、日本語に興味を深くさせるためである。

B. 研究の目的

本研究の目的はつぎのようである。

1. ひらがなの学習で、メモリーヒントの使用前と使用後に学生のひらがなの読む能力を分析するためである。
2. 学 生 の ひらがなの読む能力を向上させるためのメモリーヒントの実装を分析するためである。
3. ひらがなの読む能力を向上させるためのメモリーヒントの利点と欠点を知るためである。
4. ひらがなの読む能力を向上させるためのメモリーヒントの使用に学生の対応を知るためである。

C. 研究の方法

本研究の方法は準実験の方法である。デザインはプリテストとポストテスト(事前テスト事後テスト) デザインである。プリテスト(事前テスト)はメモリーヒントを使用する前に学習者のひらがなの読む能力を知るために行う。ポストテスト(事後テスト)はメ

Sintia Rahmah Nisa, 2018

PENERAPAN MEDIA MEMORY HINTUNTUK MENINGKATKAN KEMAMPUAN MEMBACA HURUF HIRAGANA

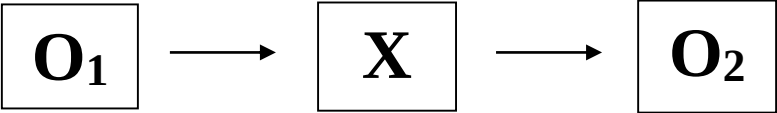
Universitas Pendidikan Indonesia | repository.upi.edu | perpustakaan.upi.edu

モリーヒントを使用する後に学習者のひらがなの読む能力を知るために行う。

研究の対象者は20名 Mande Cianjur 第1 高等学校の一年生である。それは、全部メモリーヒントメディアでひらがなを勉強する。本研究のデータを収集テストとアンケートである。テストは2 回行われ、プリテストとポストテストというテストである。プリテストは実験前のテストで、ポストテスト実験後のテストである。そのあと、アンケートを配る。

表 1

研究のデザイン



O₁ : 事前テスト

X : 学習者に対する待遇 (*treatment*)

O₂ : 事後テスト
(Arikunto, 2010, hlm. 124)

D. データの分析結果

本研究の結果に基づき、事前テストと事後テストのデータの分析を次のように述べる。

表 2

前テストと事後テストデータの分析結果

	事前テスト	事後テスト
平均点	45.9	78.8
計算の t	67.14	
表の t	19 (1.72 と 2.53)	

データの分析によると、計算の t は 67.14 である。自由度は 19 で表の t は 5% の有意水準で 1.72、1% の有意水準で 2.53 である。それは $67.14 > 2.53$ 。計算の t は表の t より大きいので、 H_0 （作業仮説）は受け入れ。つまり、ひらがなの読む能力を向上されるためのメモリーヒントの実装があるということが分かった。

それから、アンケートの分析をする。アンケートの目的はひらがなを学習の中に、メモリーヒントメディアを使用について、学習者の印象を知るためである。データの解釈に用いられる手引きは次の通りである。

表 3
アンケートの実装解釈

0%	いない
1% - 5%	ほとんどいない

Sintia Rahmah Nisa, 2018

PENERAPAN MEDIA MEMORY HINTUNTUK MENINGKATKAN KEMAMPUAN MEMBACA HURUF HIRAGANA

Universitas Pendidikan Indonesia | repository.upi.edu | perpustakaan.upi.edu

6% - 25%	一部いる
26% - 49%	半分以下
50%	半分
51% - 75%	半分以上
76% - 95%	かなり多い
96% - 99%	ほとんど全部
100%	全部

(Sudjiono, 2010, hlm. 40-41)

それから、アンケートのデータに基づき、全ての学習者は学習に当たってメモリーヒントメディアの使用によってひらがなの学習のは分かりやすく、面白く、動機づけになるということが分かった。つまり、学習メディアのとしてメモリーヒントはひらがなの学習がより楽しむことができ、実装的であることが検証された。

E. おわりに

データの分析の実装に基づき、本研究の結論は次のようである。

1. 実験する前に、日本語学習者はひらがなの読む能力の平均点が 45.9 点である。そしてメモリーヒントメディアを使用した後、ひらがなの読む能力の平均点は 78.8 点となった。

Sintia Rahmah Nisa, 2018

PENERAPAN MEDIA MEMORY HINTUNTUK MENINGKATKAN KEMAMPUAN MEMBACA HURUF HIRAGANA

Universitas Pendidikan Indonesia | repository.upi.edu | perpustakaan.upi.edu

それは事前テストと事後テストの平均点は有意差があるということが明らかになった。データの分析の結果に基づき、 t 得点は t 表より高い($67.14 > 1.72$ と $2,53$)ので、 H_k が受けられ、 H_o が拒絶された。つまり、メディアとしてモリヒントの学習がより楽しむことができ、実装的であることが検証された。

2. ひらがなの読む能力を向上させるためのメモリーヒントの実装があるということが分かった。
3. アンケート結果によると、メモリーヒントというメディアは面白くて簡単なメディアだと言われている。それに、学習者はひらがなの読む能力を向上させるためのメモリーヒントの実装があると答えた。
4. アンケートのデータの分析に基づき、全部学習者はメモリーヒントメディアを使用した後、ひらがなを読むことの学習が分かりやすく、面白く、学習の動機づけができるということが分かった。

F. 提案

本研究ではメモリーヒントメディアがひらがなの読む能力を上げるかどうかを調べたものだった。そのため、従来の方法と比較は今後の課題にする。その課題は次のようなである。

Sintia Rahmah Nisa, 2018

PENERAPAN MEDIA MEMORY HINTUNTUK MENINGKATKAN KEMAMPUAN MEMBACA HURUF HIRAGANA

Universitas Pendidikan Indonesia | [repository.upi.edu](https://repository.upi.edu/perpustakaan.upi.edu) |
perpustakaan.upi.edu

1. 学生に

メモリーヒントメディアの実装的にはひらがなの読む能力を向上させるということが分かったから、ひらがなの学習の中で使用したほうがいい。

2. 日本語の教師に

このメディアは以前日本語でまだ使っていなかったもので、今興味があれば使い、ちゃんと修正されたほうがいい。

3. 次の著者に

本研究について完備するのはいいことである。本研究には不足事が多いから、次の著者はよくに研究しなければならない。

Sintia Rahmah Nisa, 2018

***PENERAPAN MEDIA MEMORY HINTUNTUK MENINGKATKAN KEMAMPUAN
MEMBACA HURUF HIRAGANA***

Universitas Pendidikan Indonesia | repository.upi.edu |
perpustakaan.upi.edu

参考文献

Arikunto, S. (2010). *Prosedur Penelitian : Suatu Pendekatan Praktik*. Jakarta: Rineka Cipta.

Sudjiono, Anas. (2010). *Pengantar Statistik Pendidikan*. Jakarta:PT Rajagrafindo Persada.

Sintia Rahmah Nisa, 2018

PENERAPAN MEDIA MEMORY HINTUNTUK MENINGKATKAN KEMAMPUAN MEMBACA HURUF HIRAGANA

Universitas Pendidikan Indonesia | repository.upi.edu |
perpustakaan.upi.edu